

## スケジュール

2019年10月26日(土)

受付開始	9:30~10:00
開会の挨拶	10:00~10:05
会長挨拶	10:05~10:10
口演発表1~3	10:10~10:55
特別講演①	11:00~12:00
「認知症治療剤研究開発の潮流」	
木村 禎治 (エーザイ株式会社執行役)	
昼休み休憩	12:00~12:50
理事会・評議員会	12:10~12:45
シンポジウム薬史学教科書	12:50~13:35
口演発表4~6	13:40~14:25
特別講演②	14:30~15:20
「認知症」になりにくい食生活	
森田 宏 (内藤記念くすり博物館館長)	
ポスター発表1~13	15:20~16:20
口演発表7~9	16:20~17:05
口演発表10~14	17:05~18:20
次年度年会会長挨拶	18:20~18:25
閉会の挨拶	18:25~18:30
情報交換会	18:30~19:50

## プログラム

受付開始 9:30～10:00

開会の挨拶 10:00～10:05 年会長 森田 宏

会長挨拶 10:05～10:10 日本薬史学会会長 折原 裕

口演発表1～3 (各15分) 10:10～10:55

座長 五位野 政彦 (東京海道病院薬剤科)

西川 隆 (東京薬科大学)

O-1 大正期の医薬分業史に見た河合操の「薬局国営論」に関する検証と考察

○工藤義房 (一社上田薬剤師会)、西川隆 (東京薬科大学)

O-2 大正～昭和初期におけるセルフメディケーションとしての配置薬

：愛知県の配置販売個人業者の史料から

○赤木佳寿子、石居人也 (一橋大学社会学研究科)

O-3 戦前期日本の女子薬学専門学校に関する研究

－女子生徒の進学要因に関する検討を中心に－

木村 友香 (早稲田大学教育学部)

特別講演① 11:00～12:00

「認知症治療剤研究開発の潮流」

木村 禎治 (エーザイ株式会社執行役)

座長 日本薬史学会会長 折原 裕

昼休み休憩 12:00～12:50

※事前申込時にお弁当をご注文の方は、小ホールにお越しください。

理事会・評議員会 12:10～12:45 (会場：多目的ホール)

**シンポジウム薬史学教科書 12:50～13:35**

座長 森本 和滋 (国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) 生物薬品部)

演者

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| ① 薬史学教科書の理念・哲学     | 金城学院大学 河村典久 |
| ② 薬史学教科書取り組み状況     | 準備委員長 小清水敏昌 |
| ③ 薬史学教科書発刊に当たっての要望 | 日本薬科大学 船山信次 |

**口演発表4～6 (各15分) 13:40～14:25**

座長 森本 和滋 (国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) 生物薬品部)

小林 力 (日本薬科大学)

**O-4 日本生まれの歴史的、肝・胆・消化機能改善剤**

～ウルソデオキシコール酸 開発史～

仲安 義行 (田辺三菱製薬株式会社)

**O-5 “碧素アンプル”の「重要科学技術史資料台帳」への登録**

○八木澤 守正<sup>1)</sup>, 松本 邦男<sup>2)</sup>, 加藤 博之<sup>3)</sup>, 岩田 敏<sup>4)</sup>

(<sup>1)</sup> 慶應義塾大学薬学部, 元 日本抗生物質学術協議会,

<sup>2)</sup> 神奈川工科大学, <sup>3)</sup> 日本感染症医薬品協会,

<sup>4)</sup> 日本感染症医薬品協会, 国立がん研究センター中央病院)

**O-6 超天然物ネオカルチノスタチン・クロモフォアの構造決定に寄与した**

機器分析の進歩

○江戸清人<sup>1)</sup>, 小出芳夫<sup>2)</sup>, 船山信次<sup>3)</sup>, 安藤崇仁<sup>4)</sup>

(<sup>1)</sup> エコー電力ビル薬局, <sup>2)</sup> 東北文化学園大学, <sup>3)</sup> 日本薬科大学, <sup>4)</sup> 帝京大学)

**特別講演② 14:30～15:20**

「認知症」になりにくい食生活

森田 宏 (内藤記念くすり博物館館長)

座長 内藤記念くすり博物館 稲垣 裕美

ポスター発表 15:20～16:20

P-1 我が国の薬剤師生涯学習の歩みについて

武立 啓子 (日本薬史学会)

P-2 清水藤太郎と日本薬局方

○清水 眞知, 小泉 元 (NP0 法人薬剤師と地域薬局活動ネットワーク)

P-3 薬学生と横浜中区の薬史を学んで (実務実習・地域と保健から)

○清水 聖子 (清水平安堂薬局), 岩永 若葉 (帝京大学薬学部5年),  
百上 優貴子 (北里大学薬学部5年)

P-4 内藤記念くすり博物館開館へ向かって・清水藤太郎の記録から

清水 良夫 (NP0 法人薬剤師と地域薬局活動ネットワーク)

P-5 大同薬室文庫を蒐集した中野康章の生涯

野尻 佳与子 (奈良女子大学大学院人間文化研究科)

P-6 中富記念くすり博物館の歴史的背景と収蔵品

○正山征洋<sup>1)</sup>、中富貴代<sup>2)</sup>

(<sup>1)</sup> 長崎国際大学薬学部、<sup>2)</sup> 中富記念くすり博物館)

P-7 製薬企業・図書室の蔵書大処分

小林 力 (日本薬科大学)

P-8 唐代の詹糖香の基原植物について

指田 豊 (東京薬科大学名誉教授)

P-9 緒方洪庵の医療教育：「適々齋薬室膠柱方」写本の調査検証

○高浦(島田)佳代子<sup>1,2</sup>、高橋京子<sup>1,2,3,4</sup>

(<sup>1</sup>大阪大学総合学術博物館, <sup>2</sup>大学院薬学研究科,

<sup>3</sup>共創機構,<sup>4</sup>適塾記念センター)

P-10 ハルキシヤン・シンと現代インド薬学の発展

夏目 葉子 (日本薬史学会)

P-11 Lorsch Arzneibuch にみられる中世初期西欧の薬学知識

アシコル 玉美 (愛知県立大学非常勤講師)

P-12 佐原の老舗薬局、三代目小川欽一郎氏の功績

○松崎桂一<sup>1</sup>、小川裕好<sup>2</sup>、石毛久美子<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>日本大学薬学部、<sup>2</sup>オガワ薬局)

P-13 武田長兵衛商店の公益事業—尚志社と杏雨書屋を中心に—

安土 昌一郎 (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター)

**口演発表 7~9 (各 15 分) 16:20~17:05**

座長 小清水 敏昌 (順天堂大学医学部医史学研究室)

船山 信次 (日本薬科大学)

O-7 「バイオ医薬品の品質評価法開発研究の進歩」

—NIHS・生物薬品部 30 年史の視点から—

○森本和滋、日向昌司、石井明子

(国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) 生物薬品部)

O-8 エイズ治療薬の迅速供給体制について

○齋藤充生<sup>1,2</sup>、林譲<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>ヘルスヴィジランス研究会、<sup>2</sup>日本医薬情報センター)

O-9 JP の国際活動と最新版 JP17-2 の概要について

俎野 恭一 (株式会社ニューリンクジャパン)

口演発表 10~14 (各 15分) 17:05~18:20

座長 鈴木 達彦 (帝京平成大学薬学部)

松崎 桂一 (日本大学薬学部)

O-10 日本医薬文化史 第2報 古代日本の医薬神について

辰野 美紀 (順天堂大学医学部医史学研究室)

O-11 森野旧薬園伝来史料の保全と公開：森野家文書に埋蔵される学術情報の学際的活用

○高橋京子<sup>1,2,3,4</sup>, 高浦(島田)佳代子<sup>2,3</sup>, 松永和浩<sup>1,4</sup>

(<sup>1</sup>大阪大学共創機構, <sup>2</sup>総合学術博物館, <sup>3</sup>大学院薬学研究科,

<sup>4</sup>適塾記念センター)

O-12 古代ギリシア文化圏のアスクレピオス神殿と

医薬のシンボル蛇

石田 純郎 (岡山大学医学部非常勤講師)

O-13 医師シーボルトと薬剤師ビュルガーの日本における

私的生活の一断面

西川 隆 (東京薬科大学)

O-14 フランスで開催された「ジャポニスム2018」を通して考察する生薬学史と

日仏の科学交流について

ジュリア・ヨング (法政大学)

次年度年会会長挨拶

18:20~18:25

日本大学薬学部

松崎 桂一

閉会の挨拶

18:25~18:30

日本薬史学会副会長 森本 和滋

情報交換会

18:30~19:50 (会場：本館1Fロビー)